

迎春



日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
(購読料郵税共) 年額8,000円

撮影
株式会社アカギ
会長
渋谷 清壽 氏
渋谷駅・忠犬八子公像

環境大臣 中川雅治



質の高い新たな成長で 持続可能な社会を実現

明けましておめでとうございます。平成三十年の新しい年を迎え、環境行政に対する国民の皆様からの御期待に応えられるよう決意を新たに、ここに御挨拶申し上げます。

今日の環境問題は、気候変動、廃棄物問題、さらには原子力災害による汚染など、人類のあらゆる社会経済活動から生じる、多様で複雑なものとなっております。一方で我が国の経済・社会が抱える課題も、経済成長のみならず地域活性化、少子高齢化への対応、国土強靱化など多岐にわたります。このような困難な課題に対応し社会構造を変革するためには、環境政策も変化させていく必要があります。即ち、環境上の課題と経済・社会における諸課題を同時に解決していくような環境政策のデザインが求められているのです。将来にわたり、質の高い生活

をもち「新たな成長」により、持続可能な社会を実現していく、こうした決意を軸に、環境省では本年、環境基本計画や循環型社会形成推進基本計画を改定するとともに、各分野で施策を展開してまいります。

まず、国内外での気候変動対策を強力に推進します。昨年十一月にドイツのボンで開催されたCOP23(気候変動枠組条約第二十三回締約国会議)では、パリ協定の実施指針の策定に向け一定の進捗が得られるとともに、企業や自治体などの非政府主体を巻き込んだ積極的な取組が数多く示され、世界の潮流を強く実感しました。企業版2°C目標(SBT)や事業

を全て再エネで賄う「RE100」などの意欲的な目標を掲げる企業の増加や、自治体や市民が出資する地域エネルギー会社のネットワークの設立「日本版シュタットベルケネットワーク」の設立

など、我が国においても脱炭素化に向けた取組が加速化しています。気候変動対策を契機として経済成長や地方創生等との好循環を生み出すような施策を展開します。

温室効果ガス排出量を二〇三〇年度に二六%削減する目標の達成に向け、抜本的な再エネ導入、徹底した省エネの推進、ESG投資の充実・強化、国民運動「COOL CHOICE」やフロン対策を進めるとともに、我が国の削減目標に深刻な支障を来すことが懸念される石炭火力発電からの排出の抑制を図ります。そして、二〇五〇年までに温室効果ガス排出量を八〇%削減することを目指し、カーボンプライシングの精力的な検討に加え、長期低排出発展戦略の策定に向けた政府全体としての検討に取り組みます。

次に、東日本大震災からの復興・創生に誠心誠意取り組みます。発災から今年三月で八年目を迎える被災地の状況をしっかりと捉え、被災地の皆様の思いに寄り添い、対応していきます。昨年、帰還困難区域を除く全ての地域でおおむね除染が完了し、中間貯蔵施設では、地権者の皆様の御協力により用地取得が進むとともに除去土壌の貯蔵を開始しました。本年も引き続き、用地取得、施設の整備、除去土壌等の継続的な搬入を着実に進めていきます。また、住民の方々の放射線に係る健康管理や健康不安への対応についても、福島県の県民健康調査への支援などを適切に進めてまいります。帰還困難区域については、特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、除染とインフラ整備等を一体的に進めます。

第三に、我が国の魅力ある自然の保全・活用やいきものとの共生に向けた取組の推進です。「国立公園満喫プロジェクト」を展開し、国立公園を訪れる訪日外国人の人数を二〇二〇年には一千万人にすることを目指します。さらに、自然の恵みを将来にわたって享受できるように、自然資源の保全及び利用を通じて地域の活性化を図る森里川海プロジェクトや自然再生の取組を展開します。

第四に、毎日の生活にも密接に関連する3R・資源循環です。まず、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向けた使用済小型家電からのリサイクルメタルの製作や廃棄物処理や浄化槽などの環境インフラの海外展開等、国内外での徹底した資源循環に取り組みます。また、暮らしを

将来にわたって支えるため、更新時期を迎えつつある一般廃棄物処理施設の整備支援を適切に行うとともに、浄化槽の普及を進めます。今後想定される大規模災害もあらかじめ念頭において、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理体制の確保及び処理施設の強化対策を進めてまいります。

これらの取組とともに、安心・安全の確保に向けた取組を継続して進めてまいります。様々な存在する環境リスクの低減に向けた取組を進めるため、化学物質の環境リスク管理を進めていくほか、PCB廃棄物の期限内処理、微小粒子状物質(PM2.5)に関する的確な情報提供や排出抑制対策、水俣条約の実施に向けた取組、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)、海洋ごみ対策、土壌汚染対策、水環境の保全、水俣病を始める公衆健康被害対策や石綿健康被害者の救済などについても着実に取り組んでまいります。

今から十七年前、環境省の総合環境政策局長に就任し、その後環境事務次官を務めて以来、私は環境政策をライフワークとしてまいりました。引き続き、環境はもちろん、原子力規制、原子力防災にも共通する「人と環境を守る」という根源的な使命の下、精力的に取り組みしてまいります。

TOTO

きれいな除菌水のチカラで、毎回手間なし除菌。

NEOREST

詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

ね除染が完了し、中間貯蔵施設では、地権者の皆様の御協力により用地取得が進むとともに除去土壌の貯蔵を開始しました。本年も引き続き、用地取得、施設の整備、除去土壌等の継続的な搬入を着実に進めていきます。また、住民の方々の放射線に係る健康管理や健康不安への対応についても、福島県の県民健康調査への支援などを適切に進めてまいります。帰還困難区域については、特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、除染とインフラ整備等を一体的に進めます。



アクアセラミックが、トイレに新世紀を告げる。

100年クリーン

水のチカラで、ずっと輝く

AQUA CERAMIC

- クリーン① トイレの汚れが、ツルンッと落ちる。^{※1}
- クリーン② リング状の黒ずみ、くすみとサヨナラ。^{※2}
- クリーン③ 新品時のツルツルが、100年つづく。^{※3}

LIXIL主力住宅トイレのすべてに「アクアセラミック」を展開

株式会社 LIXIL お客様相談センター ☎ 0120-179-400 受付時間：平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00

^{※1} 付着した汚物よごれによっては、お掃除が必要な場合があります。
^{※2} 定期的にお掃除しない場合、汚れが付着する場合があります。
^{※3} 同一部位の摩擦回数2往復で年間365日お掃除した場合、お掃除プランで約7万回(100年相当)の往復を想定しています。